

町田市いきいき長寿プラン21-23 (町田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画-第8期-) 2021年度 進捗状況評価結果

<目次>

1	主な取組の進捗評価結果一覧	1
2	基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果	1
3	主な取組の進捗評価結果(詳細)	2
	基本目標 1 地域とつながり、いきいきと暮らしている	2
	基本施策1 地域活躍と生きがい・健康づくりの推進	2
	基本施策2 地域ネットワークの充実	5
	基本目標2 支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できている	7
	基本施策3 日常生活支援の推進	7
	基本施策4 認知症とともに生きるまちづくりの推進	10
	基本施策5 在宅療養を支える医療・介護連携の推進	12
	基本施策6 家族介護者の支援と高齢者の権利擁護	13
	基本目標3 よりよい介護保険サービスを適切に利用できている	15
	基本施策7 住まいの選択肢の充実とサービス基盤・人的基盤の整備	15
	基本施策8 介護保険サービスの効率的な提供と品質向上	17

町田市いきいき長寿プラン21-23 2021年度進捗状況評価結果について

1 主な取組の進捗評価結果一覧

基本目標	基本施策	取組の柱	主な取組	進捗評価	
1	1	(1)地域活動への参加促進と生きがいづくり	① 老人クラブ活動の支援 ② 高齢者のスポーツ活動の普及	△ ○	
		(2)介護予防・健康づくりのための通いの場の充実【重点】	① 介護予防と健康づくりの一体的な推進 ② 地域介護予防自主グループの支援 ③ 「町田を元気にするトレーニング」(通称「町トレ」)自主グループの支援	○ ○ ○	
		(3)高齢者の就労機会の確保と地域活躍の推進	① 町田市シルバー人材センターによる就労機会提供の支援 ② 介護予防サポーターの養成 ③ いきいきポイント制度の普及	○ ○ ○	
	2	(1)高齢者支援センターのネットワーク機能の強化【重点】	① 高齢者支援センターと関係機関との連携強化 ② 地域ケア会議による課題解決機能の強化	○ ◎	
		(2)地域ネットワークづくりの強化	① 高齢者見守り支援ネットワークの普及 ② あんしんキーホルダーの普及	◎ ◎	
		(3)緊急時等の地域連携機能の強化	① 介護保険事業所等との緊急時の連携強化 ② 高齢者の迅速かつ円滑な避難の確保と避難生活支援	○ ◎	
	2	3	(1)自立支援・重度化防止に向けた取組の推進【重点】	① 地域ケア個別会議を活用した効果的な介護予防ケアマネジメントの実施 ② 短期集中型サービスの実施	◎ ◎
			(2)地域の支え合いの推進	① 生活支援団体ネットワークの支援 ② 移動支援の推進 ③ まちだ互助クラブの支援	◎ ◎ ○
			(3)生活支援サービスの提供	① 自立支援・配食ネットワークの実施 ② 高齢者在宅訪問理美容券の交付 ③ 寝具乾燥消毒事業の実施	○ ◎ ○
		4	(1)認知症の人やその家族の視点を重視した地域づくりの推進【重点】	① 認知症の人やその家族の居場所づくり ② 認知症サポーターの養成 ③ 行方不明高齢者の捜索支援	○ ○ △
			(2)認知症早期対応・受診の支援の充実	① 認知症相談支援 ② 認知症の早期受診支援(認知症初期集中支援チーム事業)	◎ ○
		5	(1)多職種による在宅医療・介護連携の推進【重点】	① 「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」の推進 ② 「医療と介護の連携支援センター」による医療・介護連携の推進	○ ◎
6		(1)家族介護者への支援の充実	① 家族介護者教室・家族介護者交流会の開催 ② 市民向け基礎介護技術講習会の開催	◎ ◎	
		(2)高齢者の権利擁護	① 成年後見制度の利用支援 ② 高齢者虐待の防止	○ ○	
7		(1)介護人材の確保・育成・定着【重点】	① 介護人材バンク機能強化による多様な担い手の確保 ② 中核となる専門人材の育成・定着	◎ ○	
		(2)地域密着型サービスの充実	① 在宅生活を支える地域密着型サービスの充実	◎	
		(3)多様な住まいや施設の確保	① 高齢者の住宅設備改修の支援 ② 養護老人ホームへの入所支援 ③ 高齢者への居住支援の推進	△ ○ ○	
3		8	(1)効率的な介護保険サービス提供の推進【重点】	① 介護認定調査員支援システムの導入 ② 指定申請・指導監査に関する文書負担の軽減 ③ 介護現場におけるロボット・ICTの活用促進	△ ○ △
	(2)適切な介護保険サービスの利用の促進		① 介護保険サービスの適正化事業の推進 ② 介護保険事業者への指導・助言 ③ 認定調査員への支援 ④ 介護保険制度の周知	○ ○ ○ ○	
	(3)介護保険サービスの品質向上		① 要介護度改善ケア奨励事業の実施 ② 介護サービス相談員の派遣 ③ 福祉サービス第三者評価の受審助成 ④ 介護支援専門員への相談援助研修の実施	△ △ ◎ ○	

2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果

基本目標	基本施策	進捗評価の構成割合		
		◎	○	△
1	地域とつながり、いきいきと暮らしている	28.6%	64.3%	7.1%
	1 地域活躍と生きがい・健康づくりの推進	0.0%	87.5%	12.5%
	2 地域ネットワークの充実	66.7%	33.3%	0.0%
2	支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できている	47.4%	47.4%	5.3%
	3 日常生活支援の推進	62.5%	37.5%	0.0%
	4 認知症とともに生きるまちづくりの推進	20.0%	60.0%	20.0%
	5 在宅療養を支える医療・介護連携の推進	50.0%	50.0%	0.0%
	6 家族介護者の支援と高齢者の権利擁護	50.0%	50.0%	0.0%
	3 よりよい介護サービスを安心して利用し続けることができ	17.6%	52.9%	29.4%
	7 住まいの選択肢の充実とサービス基盤・人的基盤の整備	33.3%	50.0%	16.7%
	8 介護保険サービスの効率的な提供と品質向上	9.1%	54.5%	36.4%
	合計	32.0%	54.0%	14.0%

<凡例>

◎:計画以上に進んでいる(目標値に対して110%以上の実績値)
○:おおむね計画どおり進んでいる(目標値に対して90%以上110%未満の実績値)
△:計画どおり進んでいない(目標値の90%未満の実績値)

3 主な取組の進捗評価結果(詳細)

基本目標 1	地域とつながり、いきいきと暮らしている
基本施策 1	地域活躍と生きがい・健康づくりの推進

取組の柱(1) 地域活動への参加促進と生きがいづくり

計画書p.50

主な取組① 老人クラブ活動の支援				
評価	指標	新規老人クラブ数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	2クラブ	0クラブ	△
	2022年度	2クラブ		
	2023年度	2クラブ		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、仲間と集まり活動を行うことが困難な状況であったため、新規老人クラブの立ち上げは、ありませんでした。また、既存クラブについても、多くの活動が停滞しました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、既存の老人クラブの活動を支援していきます。</p>		

主な取組② 高齢者のスポーツ活動の普及				
評価	指標	高齢者のスポーツ大会等開催回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	3回	3回	○
	2022年度	3回		
	2023年度	3回		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・市主催の下記ゲートボール大会を開催しました。 ①ゲートボール大会（参加者：137名） ②女子ゲートボール大会（参加者：71名） ③シルバー親善ゲートボール大会（参加者：70名）</p>		
課題および今後の方向性		<p>・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をしたうえで、ゲートボール大会を開催する必要があります。引き続き、関連団体と安全な大会運営方法について協議し、大会を開催します。</p>		

取組の柱(2) 介護予防・健康づくりのための通いの場の充実【重点】

計画書p.50

主な取組① 介護予防と健康づくりの一体的な推進				
評価	指標	フレイルチェック会参加人数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	279人	265人	○
	2022年度	379人		
	2023年度	479人		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していたフレイルチェック会を5回中止しましたが、全6回実施し、計86名が参加しました。 ・参加者アンケートでは、95%が日常生活に講座内容を「取り入れたい」「少し取り入れたい」と回答しました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・より多くの高齢者が早期にフレイルに気づき、身近な場所で介護予防・フレイル予防に取り組むことができるよう、フレイルチェックの機会を増やします。</p>		

主な取組② 地域介護予防自主グループの支援				
評価	指標	地域介護予防自主グループ数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	322団体	338団体	○
	2022年度	326団体		
2023年度	330団体			
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センターにおいて、地域介護予防教室終了後9団体(うち2団体がオンラインツールを活用)、短期介護予防教室終了後3団体の自主グループが立ち上がりました。 ・上記の新規立ち上げグループに加え、既に地域で活動している自主グループ8団体が介護予防に協力いただけるグループとして高齢者支援センターと関わりを持つことができ、計20団体の増加となりました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、オンラインツールの活用を促進するなど、自主グループの立ち上げや活動継続を支援していきます。 		

主な取組③ 「町田を元気にするトレーニング」(通称「町トレ」)自主グループの支援				
評価	指標	「町トレ」自主グループ数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	176団体	173団体	○
	2022年度	188団体		
2023年度	200団体			
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、自粛期間中でもできる運動メニューや町トレの紹介と併せて、通いの場における感染防止のポイントの周知を継続して行ったことにより、11グループが新たに立ち上がりました。 ・既存グループに対して、町トレ効果測定の実施など、活動継続の支援を行いました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による活動への影響はありますが、引き続き、感染対策を行いながら、新規町トレグループの立ち上げ支援及び継続支援を行っていきます。 		

取組の柱(3) 高齢者の就労機会の確保と地域活躍の推進

計画書p.51

主な取組① 町田市シルバー人材センターによる就労機会提供の支援				
評価	指標	町田市シルバー人材センター新規入会者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	350人	333人	○
	2022年度	350人		
2023年度	350人			
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターが行う業務説明会の会場確保を支援しました。 ・シルバー人材センターの広報活動として、町内会・自治会にパンフレットの掲示を依頼しました。 ・イベント等での活動周知については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、シルバー人材センターが行う高齢者の就業機会の提供や、会員増加の取組への支援を行います。 ・シルバー人材センターが自主財源を中心とした組織運営ができるように、支援を行います。 		

主な取組② 介護予防サポーターの養成				
評価	指標	介護予防サポーター養成講座の修了者数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	1,117人	1,097人	○
	2022年度	1,177人		
2023年度	1,237人			
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止により、養成講座を計画の4期分から2期分中止しましたが、残り2期分については、感染対策を行った上で実施し、新たに20名の方が修了しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら養成講座を開催し、地域で介護予防の普及啓発や地域活動を行うことができる人材を養成していきます。 		

主な取組③		いきいきポイント制度の普及		
評価	指標	①いきいきポイント制度登録者数 ②いきいきポイント制度活動場所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	①2,350人 ②250か所	①2,131人 ②244か所	○
	2022年度	①2,450人 ②255か所		
2023年度	①2,550人 ②260か所			
2021年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新規登録研修会を年間で13回実施し、新たに79名が登録しました。また、6施設の新規施設登録がありました。 ・スキルアップを目的とした登録者向けの研修会を1回実施しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響から、新規の登録者が感染拡大前と比較すると大幅に減少しており、登録者数が伸び悩んでいます。施設(団体)のボランティア受入も影響を受け、活動が停滞している状況です。 ・各施設(団体)の感染状況に応じた活動を注視しながら、制度の周知に努めていきます。 			

基本目標 1	地域とつながり、いきいきと暮らしている
基本施策 2	地域ネットワークの充実

取組の柱(1) 高齢者支援センターのネットワーク機能の強化【重点】

計画書p.55

主な取組① 高齢者支援センターと関係機関との連携強化				
評価	目指す方向性	高齢者分野だけでは解決が難しい課題についての解決を支援する		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	○
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果	<p>・いわゆる「8050問題」といった高齢者分野だけでは解決が難しい課題に対応するため、高齢者支援センターが、障がい者支援センターや保健所を交えて、各機関での対応状況や課題についての共有や意見交換を行いました。</p> <p>・市内の福祉・保健医療関係部署の職員が参加した検討会を開催し、複雑化・複合化した相談の受付体制や、各相談支援機関の連携の在り方及び支援を必要とする潜在的な相談者を把握する体制づくりに向けた検討を行いました。</p> <p>・課題解決の支援に向けて、関係機関が協力して対応する取組を実施したため、進捗評価を「○」としました。</p>			
課題および今後の方向性	<p>・引き続き、地域ケア会議等で多分野の関係機関が参加しての意見交換等を行うなど、高齢者支援センターと関係機関との連携強化に取り組みます。</p> <p>・市内関係部署及び地域の相談支援機関で、包括的な相談支援体制の具体的な運用ルールの検討を行います。</p>			

主な取組② 地域ケア会議による課題解決機能の強化				
評価	指標	地域ケア推進会議の参加者アンケートで「地域課題の解決に向けて効果的な話し合いができた」と回答した方の割合		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	75%	89%	◎
	2022年度	80%		
	2023年度	85%		
2021年度の具体的な取組・成果	<p>・地域ケア会議運営ガイドラインに沿って地域ケア会議を開催し、地域の課題抽出・検討を行いました。</p> <p>・在宅医療・介護連携に関する地域ケア会議については、「医療と介護の連携支援センター」が開催支援を行いました。</p>			
課題および今後の方向性	<p>・引き続き、高齢者の個別の課題や地域に共通した課題の解決に有効なものとなるよう、地域ケア会議の運営に取り組みます。</p> <p>・在宅医療・介護連携に関する地域ケア会議については、「医療と介護の連携支援センター」が会議内容を共有・確認するなどの開催支援を継続することで、会議の有効性を高めます。</p>			

取組の柱(2) 地域ネットワークづくりの強化

計画書p.56

主な取組① 高齢者見守り支援ネットワークの普及					
評価	指標	①見守り普及啓発講座・交流会の参加者数(累計) ②見守り協力事業者の数		進捗評価	
		目標値			実績値
	2021年度	①3,100人 ②602事業者	①3,521人 ②633事業者		◎
	2022年度	①3,600人 ②604事業者			
	2023年度	①4,100人 ②606事業者			
2021年度の具体的な取組・成果	<p>・市民に見守りの普及啓発を図るため、高齢者見守り普及啓発講座を30回実施しました。(ミニ講座19回・レギュラー講座11回)</p> <p>・市内の事業者へのアプローチに加え、市のホームページをみた事業者から申請していただいたこともあり、今年度は33事業者が新たに見守り協力事業者に加わりました。</p>				
課題および今後の方向性	<p>・引き続き、地域で活動する様々な団体や個人、事業者に対して普及啓発を行い、地域での見守りの目を広げていきます。</p>				

主な取組②		あんしんキーホルダーの普及		
評価	指標	あんしんキーホルダーの新規登録件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	1,300件	1,563件	◎
	2022年度	1,300件		
	2023年度	1,300件		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会への働きかけや見守り普及啓発講座の開催時に周知を行ったことに加え、市内のスーパーや集会所等であんしんキーホルダーの登録会を行いました。その結果、今年度は1,563件の登録がありました。 ・総登録者数は、20,850件です。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き普及啓発を行い、登録者数の拡大を図ります。 		

取組の柱(3) 緊急時等の地域連携機能の強化

計画書p.57

主な取組①		介護保険事業所等との緊急時の連携強化		
評価	目指す方向性	緊急時に備えた市内介護保険事業所間の連携体制の構築を推進する		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	○
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市では、大規模な災害発生時に、被災状況や事業継続についての情報を市と市内の介護保険事業所等と共有する仕組みを構築しています。2021年度は、2月に情報伝達訓練を実施し、対象施設の約7割である445事業所が参加しました。 ・市内介護保険事業所間で連携体制を構築し、新型コロナウイルス感染症拡大時にサービス提供を維持することを目的として、「町田市介護サービス事業所人材連携に関する協定」を締結しています。2021年度は、19法人22施設と協定を締結しました。 ・これらの取組みにより介護保険事業所等との緊急時の連携体制の構築を推進できたことから進捗評価を「○」としました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き情報伝達の仕組みを事業所に周知していくとともに、災害時にスムーズに対応できるよう、分かりやすいマニュアルの整備等を行います。 ・大規模災害等に備え、市内介護保険事業所間の連携体制の構築を目指します。 		

主な取組②		高齢者の迅速かつ円滑な避難の確保と避難生活支援		
評価	目指す方向性	地域の要配慮者、避難行動要支援者への支援体制の構築を推進する		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	◎
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市では災害発生時に、小学校等の一時避難所での生活が難しい要配慮者の避難先として、市内介護事業所等と二次避難施設設置運営に関する協定を締結しています。2021年度は、新たに1法人と協定を締結できたことから進捗評価を「◎」としました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、二次避難施設協定締結施設との連携を推進していきます。 		

基本目標 2	支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できている
基本施策 3	日常生活支援の推進

取組の柱(1) 自立支援・重度化防止に向けた取組の推進【重点】 計画書p.60

主な取組①		地域ケア個別会議を活用した効果的な介護予防ケアマネジメントの実施		進捗 評価
評価	指標	地域ケア個別会議事例提出者の満足度		
		目標値	実績値	
	2021年度	90%	100%	
	2022年度	90%		
	2023年度	90%		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・全5回会議を開催し、計9事例について、ご本人の望む生活の実現に向けた検討を行いました。 ・事例提出者から取ったフィードバックシートのうち、「検討内容が本人に提案できそうな検討内容であった」について、全員が「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答しています。 ・これまでの会議のフィードバックと次年度の実施手順の確認等を目的とした研修を実施し、アドバイザーや高齢者支援センター職員と情報共有を図りました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センターだけではなく、地域の居宅介護支援事業所の事例も検討できるよう、体制を準備していきます。 		
主な取組②		短期集中型サービスの実施		進捗 評価
評価	指標	短期集中型サービス目標達成率		
		目標値	実績値	
	2021年度	75%	88%	
	2022年度	75%		
	2023年度	75%		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市内4会場(ふれあい館)で、短期集中型サービスであるIADL向上教室を実施しました。 ・教室参加者17名のうち、15名が3か月間の運動トレーニングを通して、生活機能の維持・改善に向けた目標を達成しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は参加申込者の居住地に偏りがありました。利用人数を増やすために、高齢者支援センター職員・ケアマネジャーへの研修会の実施や、新規要支援認定者に事業のチラシを送付するなど、広く周知を図っていきます。 		

取組の柱(2) 地域の支え合いの推進 計画書p.61

主な取組①		生活支援団体ネットワークの支援		進捗 評価
評価	指標	生活支援団体ネットワーク登録団体数		
		目標値	実績値	
	2021年度	17団体	20団体	
	2022年度	18団体		
	2023年度	19団体		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援団体の活動の充実を図るため、生活支援団体ネットワーク連絡会を2回、研修会を1回開催し、団体間の情報共有や意見交換を行いました。 ・8/15号広報まちだで生活支援団体の活動紹介記事を掲載し、広く周知しました。 ・生活支援団体ネットワークの登録団体は、新規で4団体あり、計20団体となりました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、生活支援団体への相談・助言や、ネットワーク連絡会の開催、活動団体のPR等を行い、地域での支え合い活動を推進していきます。 		

主な取組②		移動支援の推進		
評価	指標	移動支援ボランティア実施か所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	5か所	6か所	◎
	2022年度	6か所		
	2023年度	6か所		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・生活支援を行っているボランティア団体が成瀬地区にて移動支援を開始し、市内の移動支援ボランティア実施か所は1か所増え、合計6か所となりました。</p> <p>・外出に困っている地域や送迎が必要な団体でドライバーとして活躍できる方を養成するため、地域支え合い型ドライバー養成研修を2回開催し、計27名が修了しました。研修修了者のうち、2021年度末時点で計9名が事業所や住民団体のボランティアドライバー等の活動につながりました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、地域支え合い活動としての移動支援を推進するため、高齢者支援センターや関係団体と連携してボランティア団体の立ち上げ及び活動を支援していきます。</p>		

主な取組③		まちだ互近助クラブの支援		
評価	指標	まちだ互近助クラブ登録団体数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	81団体	74団体	○
	2022年度	85団体		
	2023年度	89団体		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動を停止する団体もあり、登録団体は74団体（登録のみ14団体、補助金申請60団体）となりました。</p> <p>・クラブの活動継続支援の一つとして、クラブの参加者同士が、互いに見守り支え合えるよう、見守りや認知症について学ぶ講座を登録団体に対して実施しました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、高齢者支援センターと連携して団体の立ち上げ及び活動継続を支援していきます。</p>		

取組の柱(3) 生活支援サービスの提供

計画書p.63

主な取組①		自立支援・配食ネットワークの実施		
評価	指標	自立支援・配食ネットワークの実施利用者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	650人	629人	○
	2022年度	660人		
	2023年度	670人		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・感染症対策を各事業者に周知し、見守りの手段を直接の手渡しから、電話やインターフォン越し等で行うなど工夫し実施しました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、配食サービスを通じて、在宅高齢者の安否確認を行います。</p>		

主な取組②		高齢者在宅訪問理美容券の交付		
評価	指標	高齢者在宅訪問理美容券利用者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	3,000人	3,803人	◎
	2022年度	3,000人		
	2023年度	3,000人		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・調髪券利用者の利便性向上のため、調髪利用券の有効期限を3か月から1年間に改めました。その結果、有効期限切れによる未使用調髪利用券が減少しました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、調髪利用券を交付し、在宅での高齢者の経済的負担を軽減します。</p>		

主な取組③		寝具乾燥消毒事業の実施		進捗 評価
評 価	指 標	寝具乾燥消毒事業の実施利用者数		
		目標値	実績値	
	2021年度	45人	42人	○
	2022年度	45人		
2023年度	45人			
2021年度の具体的 な取組・成果	・在宅での衛生面の保持のため、利用希望者に対し寝具の乾燥消毒(年6回)及び丸洗い(年1回)を行いました。			
課題および 今後の方向性	・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。			

基本目標 2	支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できている
基本施策 4	認知症とともに生きるまちづくりの推進

取組の柱(1) 認知症の人やその家族の視点を重視した地域づくりの推進【重点】

計画書p.65

主な取組①		認知症の人やその家族の居場所づくり		
評価	目指す方向性	各種普及啓発の取組や、認知症の人やその家族、市民、地域の関係者とのさまざまな取組を通し認知症とともに生きることのできるまちづくりを進める		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	○
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けにオンラインで認知症普及啓発を目的としたイベントを開催し、641名の参加がありました。 ・認知症カフェを毎月1回オンラインで開催し、295名の参加がありました。 ・市と地域が一体となって認知症とともに生きるまちづくりを進めるため、まちづくりについて考えるワークショップを2回実施し、地域住民や福祉専門職等、合計79名に参加いただきました。 ・それぞれの取組みにおいて、多くの市民や福祉専門職に参加いただけただため、進捗評価を「○」としました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症流行前は地域が主催する認知症カフェが市内に36箇所ありましたが、現在は23箇所に減少しています。認知症の人やその家族の居場所の再開や新しい形での立ち上げを支援していきます。 ・16のまちだアイ・ステートメントの普及・活用促進に取り組み、認知症の人やその家族の視点を重視した認知症の人にやさしい地域づくりを推進します。 		

主な取組②		認知症サポーターの養成		
評価	指標	認知症サポーター養成講座の受講者数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	33,100人	33,954人	○
	2022年度	34,200人		
	2023年度	35,300人		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を52回開催し、計1,699人が受講しました。 ・認知症サポーター養成講座の受講者が、認知症についての理解をさらに深めるための認知症サポーターステップアップ講座を1回実施し、19人が受講しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の正しい知識と理解を広く周知します。 		

主な取組③		行方不明高齢者の搜索支援		
評価	指標	行方不明高齢者探索サービス利用者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	128人	106人	△
	2022年度	149人		
	2023年度	170人		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等で事業の周知をするとともに、行方不明となったことがある高齢者の家族に対して事業案内を行い、利用促進を図りました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、行方不明者高齢者家族支援サービス事業の周知を行い、利用促進を図っていきます。 		

主な取組① 認知症相談支援				
評価	指標	認知症電話相談件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	200件	254件	◎
	2022年度	200件		
	2023年度	200件		
2021年度の具体的な取組・成果	・認知症の専門相談窓口における電話相談は254件でした。また、高齢者支援センターで実施する医師による相談は151件、臨床心理士による相談は150件でした。			
課題および今後の方向性	・引き続き、認知症の方やその介護者に対する相談対応を行います。			

主な取組② 認知症の早期受診支援(認知症初期集中支援チーム事業)				
評価	指標	認知症の診断につながった対象者の割合		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	65.0%	63.6	○
	2022年度	65.0%		
	2023年度	65.0%		
2021年度の具体的な取組・成果	・認知症が疑われる22名を支援チームで訪問し、そのうち14名が受診に繋がりました。また、認知症初期集中支援チームガイドラインに、チーム員が活動する上で参考となるよう活動事例を追加掲載するなどの改訂を行いました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、かかりつけ医や地域の医療機関と連携を図るとともに、訪問継続中の方を受診に繋げる支援を行います。			

基本目標 2	支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できている
基本施策 5	在宅療養を支える医療・介護連携の推進

取組の柱(1) 多職種による在宅医療・介護連携の推進【重点】

計画書p.69

主な取組① 「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」の推進				
評価	指標	多職種連携研修会開催回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	2回	2回	○
	2022年度	2回		
	2023年度	2回		
2021年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」を3回開催し、医療・介護連携について協議を行いました。 ・「町田市の成人健康診査及び各種検診」をテーマに、専門職向け、市民向けの多職種連携研修会をそれぞれ1回ずつ開催しました。 ・多職種連携ツールのひとつとしてオリジナルお薬手帳カバーを作成し、11月より配布を開始しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」における各取組を通して、医療・介護連携を推進するとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくための啓発活動を行っていきます。 			
主な取組② 「医療と介護の連携支援センター」による医療・介護連携の推進				
評価	指標	「医療と介護の連携支援センター」相談件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	1,500件	1,659件	◎
	2022年度	1,500件		
	2023年度	1,500件		
2021年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度の相談対応件数は1,659件となり、2020年度の972件から比べて約690件増加しました。 ・コロナにより在宅生活の継続が困難となった要介護高齢者に対し訪問介護等のサービスの導入を支援する「在宅要介護者受入支援事業」では、医療と介護の連携支援センターが受入調整を行い、2件の利用実績がありました。 ・「居宅療養管理指導」をテーマに、高齢者支援センター、居宅介護支援事業所向けの勉強会を3回開催しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、医療と介護の連携協働を促進するとともに、相談対応の中から連携協働を促進するうえでの課題抽出を行っていきます。 			

基本目標 2	支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できている
基本施策 6	家族介護者の支援と高齢者の権利擁護

取組の柱 (1) 家族介護者への支援の充実

計画書p.72

主な取組① 家族介護者教室・家族介護者交流会の開催				
評価	指標	家族介護者教室・交流会の開催数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	24回	63回	◎
	2022年度	24回		
	2023年度	24回		
2021年度の具体的な取組・成果	・家族介護者教室15回、家族介護者交流会48回を実施しました。オンライン開催等、新型コロナウイルス感染症対策を講じたことで、目標値を上回りました。			
課題および今後の方向性	・引き続き感染対策を講じたうえ、各高齢者支援センターで家族介護者教室、家族介護者交流会を開催します。			
主な取組② 市民向け基礎介護技術講習会の開催				
評価	指標	市民向け基礎介護技術講習会参加者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	40人	46人	◎
	2022年度	40人		
	2023年度	40人		
2021年度の具体的な取組・成果	・家族介護者や介護に興味のある方を対象とした市民向けの「介護講習会」を3回実施し、計46人の参加がありました。			
課題および今後の方向性	・車いすの移乗や歩行の介助など、実務を交えて行うため、感染流行期を避け、また感染症対策を徹底した上で講習会を実施していきます。			

取組の柱 (2) 高齢者の権利擁護

計画書p.73

主な取組① 成年後見制度の利用支援				
評価	目指す方向性	認知症などにより判断能力が低下した高齢者に対し、成年後見制度(市長申立て等)の活用に向けた支援をする		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	○
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度の周知および親族がいない方等には市長申立ての活用支援を行いました。 ・市長申立件数の内、高齢者を対象としたものは、2020年度と比較して3件増の21件となりました。 ・市及び関係機関における、高齢者を対象とした成年後見制度に関する相談件数は、オンラインでも受け付けたことにより、2020年度と比較して122件増の543件となりました。 ・外部の専門職も参加する権利擁護支援検討委員会を定期的に開催し、個別の事例について、成年後見制度の利用も含めた支援方針を検討しました。 ・関係機関の連携を強化し、後見人等の担い手不足などの地域課題の検討・調整・解決を行う、成年後見制度利用促進協議会を立ち上げ、3回開催しました。 ・町田市成年後見制度利用促進基本計画を、町田市地域ホッとプランの中に位置付け、2022年3月に策定しました。 ・成年後見制度の利用支援に関するこれらの取組みを実施したことから進捗評価を「○」としました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、権利擁護に関する普及啓発を行います。 ・今後、認知症高齢者の増加に伴い、成年後見制度利用者数も増加し、後見人等の担い手不足が見込まれます。 ・成年後見制度を必要としている方が制度を利用できるよう、2021年度に立ち上げた成年後見制度利用促進協議会を活用し、効果的な制度の周知方法の検討や、関係機関と連携した適切な利用支援を行う必要があります。 			

主な取組②		高齢者虐待の防止		進捗評価
評価	目指す方向性	高齢者虐待に関するネットワークの構築や虐待防止の啓発を行う。虐待の防止・早期発見・対応を行う。		
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	○
	2022年度	-	-	
2023年度	-	-		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会の委員の協力を得ながら「高齢者・障がい者虐待防止対応マニュアル」の改正版を作成し関係機関に配布しました。 ・このマニュアルを活用し、関係機関が連携して虐待防止に取り組むことができたため、進捗評価を「○」としました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・養介護施設従事者等による虐待が増加しているため、施設管理者および施設職員に対する高齢者虐待防止法や高齢者虐待の類型等の啓発に努めます。 		

基本目標 3	よりよい介護サービスを安心して利用し続けることができる
基本施策 7	住まいの選択肢の充実とサービス基盤・人的基盤の整備

取組の柱(1) 介護人材の確保・育成・定着【重点】

計画書p.76

主な取組①		介護人材バンク機能強化による多様な担い手の確保		
評価	指標	介護人材バンクによる就労人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	40人	74人	◎
	2022年度	40人		
	2023年度	40人		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・2020年度に開発支援を行った求人・求職アプリ「まちけあジョブ」での情報提供や、LINE、Zoom等を活用した就労相談等を実施しました。また、感染症対策を徹底し、集合型の就労面接会、相談会を計29回開催しました。その他、市民向けに実施した介護の研修会場においても、就労相談を行いました。その結果、目標を上回る74人が就労に繋がりました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・高齢者人口の増加に伴い、介護サービスの需要の増加が見込まれます。 ・介護サービスを継続するために、引き続き、就労相談会、面接会等を実施し、介護人材の確保を進めていきます。</p>		
主な取組②		中核となる専門人材の育成・定着		
評価	指標	介護人材の育成・定着に関する研修参加人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	1,150人	1,106人	○
	2022年度	1,200人		
	2023年度	1,250人		
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・オンライン会議システムを活用した研修を計75回、また、感染症対策を徹底した集合型研修を計3回実施しました。合計78回で、目標水準に達する1,106人の参加がありました。また、これらの研修に加え、参加者の自由なタイミングで視聴可能な研究発表動画の配信を行い、733回の視聴がありました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・専門人材の育成・定着の支援には、集合型研修が望ましいケースもあるため、状況を見極め、集合型研修の実施を検討していきます。</p>		

取組の柱(2) 地域密着型サービスの充実

計画書p.79

主な取組①		在宅生活を支える地域密着型サービスの充実		
評価	目指す方向性	地域密着型サービスの新規整備に向けた柔軟な対応		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	◎
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果		<p>・(看護)小規模多機能型居宅介護及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備運営事業者の募集を行いました。 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、3施設から応募があり、選定しました。1施設は2021年12月に開設し、2施設は2022年4月以降に開設する運びとなりました。 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備は2014年度から開始し、2016年度までに3施設整備しました。しかし、2017年度以降は整備が計画どおり進まず、募集方法・選定方法等を見直し、2021年1月に約4年ぶりに1施設整備することができました。さらに、2021年度においては、2020年度に選定されなかった事業者へのアプローチや提出書類の見直しを行うことで、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を1年間で3施設整備する目処を立てることができたため、進捗評価を「◎」としました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・地域密着型サービスの整備において、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を進めることができましたが、(看護)小規模多機能型居宅介護については、相談対応のみで、応募には至りませんでした。引き続き、公募中の施設については、新規整備に向けて柔軟に対応していく必要があります。</p>		

取組の柱(3) 多様な住まいや施設の確保

主な取組① 高齢者の住宅設備改修の支援				
評価	指標	住宅設備改修利用件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	80件	53件	△
	2022年度	80件		
	2023年度	80件		
2021年度の具体的な取組・成果		・高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、改修費用の一部を53名に対して給付しました。		
課題および今後の方向性		・今後も高齢者の在宅生活の継続のため、住宅改修研修会等を通じて、ケアマネジャー・高齢者支援センター、施工業者に事業の周知を行い、適切な制度利用を推進します。		

主な取組② 養護老人ホームへの入所支援				
評価	目指す方向性	適切な措置入所の実施		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	○
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果		・養護老人ホームへの入所の要否について、医師や施設長等で構成する入所判定委員会を開催し、決定しました。 ・入所判定委員会を通して、環境上・経済上の理由により居宅での生活が困難な高齢者11人に対し、措置による施設入所を行い支援しました。 ・在宅で生活上の課題を抱えている高齢者に対して、入所支援の必要性を判断のうえ適切に対応したため、進捗評価を「○」としました。		
課題および今後の方向性		・在宅で生活上の課題を抱えている高齢者の入所相談について、それぞれの人に合った施設の 情報提供・入所支援をしていきます。		

主な取組③ 高齢者への居住支援の推進				
評価	指標	借上げ型シルバーピア入居戸数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	34戸	34戸	○
	2022年度	34戸		
	2023年度	34戸		
2021年度の具体的な取組・成果		・住宅の確保が困難な高齢者の居住の安定を図るため、高齢者に配慮された構造と設備を備えている住宅を提供しました。 ・借上げ型シルバーピアにおいて、2021年度当初に空き住戸であった2戸を含めた3戸の入居者募集を行った結果、3戸の新規入居があり、2021年度末時点で満室(34戸)となりました。		
課題および今後の方向性		・入居者の高齢化に伴い、施設入所等による退去者数が増加すると見込まれます。 ・空室発生から次の入居までの期間短縮を図るとともに、入居者へのサービスの質の向上を図ることで高齢者への居住支援を推進します。		

基本目標 3	よりよい介護サービスを安心して利用し続けることができる
基本施策 8	介護保険サービスの効率的な提供と品質向上

取組の柱(1) 効率的な介護保険サービス提供の推進【重点】

計画書p.85

主な取組① 介護認定調査員支援システムの導入				
評価	指標	認定調査員(介護保険認定調査支援システム利用者)1人当り1日の調査件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	2.70件	-	△
	2022年度	2.85件		
	2023年度	3.00件		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定調査員支援システムの構築を2022年3月に完了しました。 ・2021年度中に運用を開始する予定でしたが、仕様調整やタブレット端末の調達に時間を要しました。 ・構築完了が2022年3月となったため、進捗評価を「△」としました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定調査員支援システムを活用した調査は、2022年4月から順次開始します。 ・システム運用上の課題を整理し、改善することで、システムの安定稼働を図ります。 		

主な取組② 指定申請・指導監査に関する文書負担の軽減				
評価	目指す方向性	確認文書等のさらなる削減や様式の標準化、ICT等の活用の検討		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	○
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・「介護保険の分野に係る負担軽減に関する専門委員会」での審議内容を踏まえ、指定申請様式等を見直しました。その結果、2022年4月から新様式で事業者からの申請を受理できるように変更しました。また、申請書類等の内容の見直しにより、文書削減を実施しました。 ・国の指針を参考にして実地指導における確認文書を見直しました。実地指導時の確認文書は原則、前年度から直近の実績に係る書類とし、一部の書類については提出を求めないこととしました。 ・文書負担の軽減については、申請様式・添付書類・手続きに関する簡素化、ローカルルールの解消による標準化を検討し、2022年4月以降は事業者の文書作成負担の軽減を図り、事務の効率化に取り組んだため、進捗評価を「○」としました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・文書負担軽減については、今後も審議される内容のため動向を注視する必要があります。また、審議の動向に応じて適宜検討を行い、指定申請に関する文書負担の軽減に努めます。 ・実地指導が適切かつ効率的に負担が少なく実施できるように、確認文書の範囲を定期的に見直します。 		

主な取組③ 介護現場におけるロボット・ICTの活用促進				
評価	目指す方向性	介護現場におけるロボット・ICT活用の事例研究や展示等による活用の促進		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	△
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス事業者を対象として、ICT活用に関する研修を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。 ・予定していた事業を実施できなかったことから進捗評価を「△」としました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス事業者を対象に、東京都の補助制度を周知するとともに、ICT活用研修を実施します。 		

取組の柱(2) 適切な介護保険サービスの利用の促進

主な取組① 介護保険サービスの適正化事業の推進				
評価	指標	ケアマネジメント勉強会実施事業所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	60件	65件	○
	2022年度	60件		
	2023年度	60件		
2021年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市で10事業所、高齢者支援センターで55事業所に対して、ケアマネジメント勉強会を実施しました。 ・各圏域で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン及び書面にて勉強会を開催しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な介護サービスを提供するケアプラン作成の支援のために、今後も勉強会を継続します。 ・国保連合会から提供される介護給付適正化関連システムや、給付実績を基にした情報等を活用し、ケアプラン点検対象事業所の選定を行います。 			
主な取組② 介護保険事業者への指導・助言				
評価	目指す方向性	介護保険サービスの質の向上及び介護保険制度の適正な運営を確保する		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	-	-	○
	2022年度	-	-	
	2023年度	-	-	
2021年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス事業者が法令や基準等を遵守し適正な運営を行っているか確認するため、居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所を中心に64件の実地指導等を行いました。 ・居宅介護支援事業所に対する確認検査(集団指導)を行い、令和3年度介護報酬改定の内容について指導しました。 ・これらの取組みを予定通り実施できたため進捗評価を「○」としました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス事業者の適正な事業運営が確保されるように、今後も実地指導及び集団指導を通して法令、基準等の周知を行います。 			
主な取組③ 認定調査員への支援				
評価	指標	認定調査員への研修回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	11回	11回	○
	2022年度	11回		
	2023年度	11回		
2021年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに認定調査に従事する者を対象に、公平・公正かつ適切な認定調査を実施するために必要な知識・技能の修得を目的とした認定調査員新規研修(年3回)を実施しました。また、新型コロナウイルスの感染予防を考慮し、eラーニングシステムを用いた非参集方式の研修をあわせて実施しました。 ・現任の調査員を対象に、認定調査員内部研修(年1回)、認定調査員フォローアップ研修(年6回)、認定調査員現任研修(年1回/リモート開催方式)を実施し、認定調査の方法や関連知識のフォローアップを行いました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・認定申請件数の増加する中でも、公平・公正かつ適切な認定調査を実施ができるように、認定調査員の支援を継続します。 			

主な取組④		介護保険制度の周知		
評価	指標	介護保険制度の周知に関する取組件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	3件	3件	○
	2022年度	2件		
	2023年度	2件		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・第1号被保険者(65歳以上)に対し、第8期町田市介護保険事業計画に対応した介護保険のしおりを介護保険料決定通知書(約11万通)に同封し、制度の周知を行いました。また、年度途中の資格取得者(65歳到達者、転入者等)に対し、介護保険のしおりを送付し、制度の周知を行いました。 ・第8期町田市介護保険事業計画及び制度改正について、被保険者だけでなく、より多くの市民にご理解いただけるよう、ホームページを見直しました。あわせて広報まちだへの掲載や市民説明会の開催をしました。 ・制度の理解促進を図るため、介護保険サービス事業者向けに制度改正のQ&Aを作成し、ホームページ上に公開しました。 ・介護保険総合案内、介護保険サービス事業者リストが掲載された介護情報誌「ハートページ」を発行し、介護保険課窓口や高齢者支援センター等で希望者へ配布しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・適正な介護保険サービスの利用が受けられるよう市からの周知を行います。 ・介護支援専門員等の介護保険サービス事業者と連携して継続的に制度周知に努めていく必要があります。 ・引き続き、被保険者やそのご家族、事業者等に対し、ホームページやハートページ等を通じて、介護保険制度の周知に努めます。 		

取組の柱(3) 介護保険サービスの品質向上

計画書p.87

主な取組①		要介護度改善ケア奨励事業の実施		
評価	指標	要介護度の改善者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	150人	34人	△
	2022年度	150人		
	2023年度	150人		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市内特別養護老人ホームへ要介護度改善を奨励し、事業所連絡会等で前年度の改善の実績を提示するとともに、制度概要を説明し、周知を図りました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策のひとつとして、同じ介護度を1年間延長することが可能になったため、要介護度が変更になる方が減少しました。同様に要介護度の改善者数についても減少しました。 ・奨励金交付申請施設数は前年度比4施設減(15施設)となりました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も良質な施設介護サービスの提供が進むように本事業の制度活用を促進する必要があります。 ・本事業の効果検証のため、対象施設に対し2021年度の取組状況等に関するアンケートを実施し、課題を整理の上、適宜改善を施し取り組めます。 		

主な取組②		介護サービス相談員の派遣		
評価	指標	介護サービス相談員の派遣事業所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2021年度	36事業所	4事業所	△
	2022年度	36事業所		
	2023年度	36事業所		
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護サービス相談員の派遣先事業所が面会制限しており、サービス相談員を派遣することが出来ませんでした。 ・2022年1月から感染予防対策を講じた上で3事業所への派遣を再開し、2020年度に派遣再開した1事業所とあわせて合計4事業所に相談員を派遣することが出来ました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・派遣先事業所との連携を密にとり、今後の事業運営再開手法等を検討していきます。 		

主な取組③ 福祉サービス第三者評価の受審助成				
評価	指標	福祉サービス第三者評価受審助成事業所数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2021年度	13事業所	16事業所	◎
	2022年度	13事業所		
2023年度	13事業所			
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市内介護保険サービス事業所(16事業所)に対し、「東京都福祉サービス評価推進機構認証評価機関」による第三者評価費用の受審費用を助成しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供事業者の質の向上に向けて、今後も助成を継続します。 		
主な取組④ 介護支援専門員への相談援助研修の実施				
評価	指標	相談援助研修修了者数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2021年度	100人	98人	○
	2022年度	100人		
2023年度	100人			
2021年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材開発センターと共催し、ケアマネジャー向けに相談援助研修として、初任編(全3日間)と上級編(全5日間)の研修を開催しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初任編・上級編共にオンラインで開催しました。オンライン会議アプリの機能を活用しグループワークを行う等、これまでの集合研修と同様に効果的な研修を実施することができました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・研修会は、主任ケアマネジャーの推薦要件として町田市では定めており、引き続きケアマネジメントの質の向上を図るため、開催します。 ・毎年度、研修内容を見直し、より充実した内容の研修を実施します。 		